

平成19年 普及指導員資格試験 審査課題ア

次の問1から問40は、ア、イ、ウ、エ及びオの選択肢から、一つを選び出す五肢択一式問題です。各設問の指示に従い、あなたの選んだ選択肢の記号を解答用紙に記入しなさい。

問1 地産地消に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 地産地消の推進は、食や農に関する消費者の理解と関心が高まり、食育につながる。
- イ 地産地消の推進は、地域の農業生産者と地元食品企業や学校等との連携が生まれ、地域全体の活性化につながる。
- ウ 地元農産物に対する消費者の満足度は、味及び鮮度において高い。
- エ 市町村等を中心とした地産地消の取組が、全国的に広がっている。
- オ 地産地消では食料自給率向上につながらないという意見が多い。

問2 世界の農産物貿易のルールに関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア WTO体制では、関税と国内農業補助金の削減に関するルールだけが論議されている。
- イ EPAは、協定構成国間での、物やサービスの貿易自由化だけでなく、投資の自由化、経済取引の円滑化、協力の促進等幅広い分野を含む協定である。
- ウ FTAは、特定の貿易品目を対象として、即時に関税撤廃を目指して2国間で交渉する。
- エ WTO体制では、国ごとの条件に応じて柔軟な貿易ルールを定めることを原則としている。
- オ FTA・EPAの基本精神は、WTOの多角的貿易体制とは全く異なる貿易ルールの構築を目指すものである。

問3 新規就農に関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア 新規就農者は年々増加傾向にあるが、そのうちの半数近くは60歳以上である。
イ 新規就農者の多くは、市中資金を活用して営農を開始している。
ウ 新規就農者が農地を確保する場合は、自ら確保するケースが多く、農業委員会の利用はほとんど見られない。
エ フリーターなどの就農に関する意識を見ると、農業研修などにはほとんど興味をもっていないことがわかる。
オ 新規就農者の就業先の内訳を見ると、農業法人などで就業する者が多く、自ら独立した農家として就業する者はほとんどいない。

問4 次の文章は、地域資源の保全活動に関して述べたものである。() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

農道や農業用排水路の維持管理については、農家戸数の(i) 集落ほど集落で行う割合が低く、複数集落で取り組む割合が高くなっている。また、混住化率等の高い集落ほど維持管理を行う集落の割合が(ii)。農業用排水路の維持管理形態について、集落管理から非集落管理に移行した集落は、非集落管理から集落管理に移行した集落に比べ農地の減少が(iii)。

	i	ii	iii
ア	少ない	低下している	大きい
イ	少ない	増加している	小さい
ウ	少ない	低下している	小さい
エ	大きい	低下している	大きい
オ	大きい	増加している	大きい

問5 農地・水・環境保全向上対策に関する次の記述のうち、最も不適切なもののものを選びなさい。

- ア 農地・水・環境保全向上対策は、地域の実情を踏まえた取組が適切に支援できるよう、国と地方公共団体が緊密な連携のもと一体的に事業を実施する仕組みを採用している。
- イ 農地・水・環境保全向上対策を策定した背景には、過疎化、高齢化、混住化に伴う集落機能の低下により、農地・農業用水などの資源や農村環境の保全管理が困難になってきたという実態がある。
- ウ 農地・水・環境保全向上対策には、我が国農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくというねらいもある。
- エ 農地・水・環境保全向上対策の実施に向けてモデル的取組が行われた地区では、農業者、農業団体だけでなく、自治会、町内会、学校、PTAなど多様な主体の参加が促進されている。
- オ 農地・水・環境保全向上対策は、化学肥料や化学合成農薬の大幅な削減等粗放的な農業生産の拡大を通じ、農業生産に伴う環境負荷を低減することを目指して平成19年度から実施されている政策である。

問6 次の文章は、農林水産業の鳥獣被害の防止に関する方法について述べたものである。
() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

野生鳥獣による被害を左右する主な要因として、鳥獣、(i)、人の3つが考えられる。農作物への被害は、これらの要因が絡み合って発生し、またそれぞれの要因は相互に関連し合う。そのため、被害を減少させるためには野生鳥獣の管理手法である個体数管理、(ii)、被害防除の3つの対策を総合的に進めていく必要がある。個体数管理とは、地域個体群の長期にわたる安定的な維持と被害の軽減を図るために野生鳥獣の個体数、生息密度、(iii)などを適切に管理することである。

	i	ii	iii
ア	農業	限界農地の放棄	天敵
イ	環境	限界農地の放棄	分布・群れの構造
ウ	環境	生息地管理	天敵
エ	環境	生息地管理	分布・群れの構造
オ	農業	限界農地の放棄	分布・群れの構造

問7 担い手への農地利用集積に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 農地の権利移動は、貸借権等の利用権の設定が件数、面積とも増加し、所有権移転より大きな割合を占めている。
- イ 経営規模の大きな階層ほど貸借権の設定面積が大きい。
- ウ 認定農業者等の担い手が経営する耕地面積は、現在、全耕地面積の7割近くに達しており、順調に農地利用集積が進んでいる。
- エ 農地利用集積の阻害要因として、農地の貸し手は、借り手の不在、自分が出来る限り作業を続けたい意向、資産として保有したい意向を、借り手は、農産物価格低下による営農意欲の減退やほ場条件の悪さをあげている。
- オ 市町村に対する調査では、土地利用の問題として、耕作放棄や虫食いの開発が、担い手へのまとまった形での農地利用集積を阻害していると考えられている。

問8 我が国の試験研究機関において最近開発された品種とその特性についての組合せのうち、最も不適切なものを選びなさい。

	品 種 名	特 性
ア	はいみのり	胚が大きいため、発芽玄米のGABA含量が多い水稻
イ	ミラクルルージュ、ミラクルシンフォニー	遺伝子組換えにより育成された青色カーネーション
ウ	クイックスイート	電子レンジで迅速調理しても甘いサツマイモ
エ	ぽろたん	渋皮が簡単にむけるニホングリ
オ	べにふうき	抗アレルギー物質のメチル化カテキン含量が多い茶

問9 我が国の農林水産物・食品の輸出に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

ア 日本産農林水産物・食品の主要輸出国は米国、アジアが中心であり、特に最近は中国の伸びが著しい。

イ りんごや長いもの輸出では、特にアメリカへの輸出量が多い。

ウ 我が国は農林水産物・食品の輸出拡大に大きな力を入れており、2013年には1兆円規模の実現を目指している。

エ 上海で実施した日本産と外国産りんごの評価に関する調査によれば、日本産りんごに対して品質と安全性の面で大変満足しているという回答が多くなっている。

オ 中国へは衛生検疫制度上の問題から、牛肉、かんきつ類、おうとうなどの輸出はできない。

問10 「食料・農業・農村基本計画」を実現するための取組に関する次の記述について、() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

「食料・農業・農村基本計画」の目標及び課題の実現に向けて、平成18年度は特に、「経営所得安定対策等大綱」を踏まえ、担い手の育成・確保や(i)の加速化、米政策改革の着実な実施に取り組むとともに、(ii)等の資源や農村環境の保全向上施策の構築を図った。

また、食の安全及び消費者の信頼の確保、都市と農村の共生・対流の促進を一層進めるとともに、農産物の輸出促進、(iii)の利活用、革新的技術の開発・普及等を強力に推進した。

	i	ii	iii
ア	農地の利用集積	農地・農業用水	バイオマス
イ	集落営農	農地・農業用水	集落機能
ウ	農地の利用集積	景観	集落機能
エ	集落営農	景観	バイオマス
オ	農地の利用集積	景観	バイオマス

問11 バイオマス利用に関する記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア バイオマスは、太陽エネルギー等から生物が作り出す有機性資源で、主に廃棄物系バイオマス、未利用バイオマス、資源作物に分類される。
- イ バイオマスを燃焼する際に放出される二酸化炭素は、生物の成長過程で大気から吸収されたものであるため、大気中の二酸化炭素を増加させないという性質がある。
- ウ アメリカやブラジルでは、とうもろこしやさとうきびから製造されるバイオエタノールの利用に積極的に取り組んでいる。
- エ バイオディーゼル燃料は、主に畜産廃棄物から製造され、とくに発展途上国ではその利用に積極的に取り組んでいる。
- オ バイオ燃料の生産・利用に世界各国が取り組む背景には、地球温暖化防止や原油価格の高騰等がある。

問12 次の文章は我が国の食料自給率について述べたものである。() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

食料自給率を測る指標には、総合食料自給率（供給熱量ベース）、総合食料自給率（生産額ベース）、主食用穀物自給率（重量ベース）などがあるが、平成17年度のそれぞれの指標の数値を高いほうから並べると、(i)、(ii)、(iii) という順になる。

	i	ii	iii
ア	総合食料自給率 (供給熱量ベース)	主食用穀物自給率 (重量ベース)	総合食料自給率 (生産額ベース)
イ	主食用穀物自給率 (重量ベース)	総合食料自給率 (供給熱量ベース)	総合食料自給率 (生産額ベース)
ウ	総合食料自給率 (生産額ベース)	総合食料自給率 (供給熱量ベース)	主食用穀物自給率 (重量ベース)
エ	主食用穀物自給率 (重量ベース)	総合食料自給率 (生産額ベース)	総合食料自給率 (供給熱量ベース)
オ	総合食料自給率 (生産額ベース)	主食用穀物自給率 (重量ベース)	総合食料自給率 (供給熱量ベース)

問13 G A P手法に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア G A P手法は、農産物流通工程全体を適切に管理する手法である。
- イ G A P手法は、産地や農業生産者自らが実践するものである。
- ウ 民間においては、G A P推進団体による国際水準を視野に入れたG A P手法の普及等の取組が行われている。
- エ G A P手法には、計画、実践、点検・評価、見直し・改善というサイクルがある。
- オ G A P手法は、環境の保全、農産物の品質向上、労働安全の確保にも有効な手段である。

問14 品目横断的経営安定対策に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 品目横断的経営安定対策は、土地利用型農業の構造改革を推進するため、担い手の経営全体に着目し、その安定を図ることにより、国民に対する食料の安定供給を確保しようとするものである。
- イ 品目横断的経営安定対策における生産条件不利補正対策とは、担い手の生産コストのうち、生産物の販売収入では賄えない部分を補うために実施されるものである。
- ウ 品目横断的経営安定対策における収入減少影響緩和対策とは、担い手の販売収入の減少による経営に及ぼす影響を緩和するために実施されるものである。
- エ 品目横断的経営安定対策において、米は生産条件不利補正対策の対象品目となっているが、収入減少影響緩和対策の対象品目とはなっていない。
- オ 品目横断的経営安定対策は、農業生産の持続性を確保することを前提としているため、対象者には、国が定める環境規範を遵守することが求められている。

問15 担い手の育成・確保に関する施策についての次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 集落営農の組織化・法人化や経理の一元化の支援
- イ 新規就農者・女性農業者の育成・確保
- ウ 農地の利用調整の効率化及び適正利用の推進
- エ 経営体育成強化資金の貸付対象者への特定農業法人の追加
- オ 経営多角化及び農畜産物の高付加価値化を図るための施設や土地基盤の整備

問16 次の文章は、農業の生産コスト及び流通コストに関して述べたものである。

() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

農業の生産コスト構成を見ると、水稻やキャベツ等の露地野菜の場合、肥料、農薬、農機具といった生産資材費が全体の (i) で、労働費が (ii) を占めている。

また、生鮮品小売価格の内訳をみると、集出荷経費、卸売経費、小売経費等の流通コストは、米の場合で (iii)、キャベツの場合で (iv) を占めている。

	i	ii	iii	iv
ア	2 ～ 3 割	3 ～ 5 割	約 5 割	約 3 割
イ	3 ～ 5 割	2 ～ 3 割	約 3 割	約 5 割
ウ	2 ～ 3 割	3 ～ 5 割	約 3 割	約 5 割
エ	3 ～ 5 割	2 ～ 3 割	約 5 割	約 3 割
オ	5 ～ 7 割	1 ～ 2 割	約 5 割	約 3 割

問17 環境と調和した農業生産に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

ア 環境保全型農業とは、農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業のことである。

イ 我が国の作付面積当たりの農薬出荷量及び化学肥料の需要量をみると、農薬出荷量は、緩やかな増加傾向にあるが、化学肥料の需要量は減少傾向にある。

ウ 環境保全型農業に取り組む農家の割合は、営農類型別では、稲作よりも施設野菜において高い傾向にある。

エ 有機 J A S 規格の基準を満たし、有機農産物として格付けされた農産物の国内生産量は増加傾向にある。

オ 平成18年12月に有機農業の一層の推進に向けて、「有機農業の推進に関する法律」が成立した。

問18 効率的な農地利用の推進に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 農地として活用すべき耕作放棄地を都道府県基本構想で定め、所有者への指導や担い手への農地集積に取り組んでいる。
- イ 耕作放棄地の解消・発生防止に向けた諸活動を支援するために、「耕作放棄地対策推進の手引き」が作成された。
- ウ 土地持ち非農家の耕作放棄地面積は、販売農家の耕作放棄地面積を上回っている。
- エ 農地利用の向上を図るため、県域を越えたりレー方式による生産を推進している。
- オ 効率的な農地利用を通じた飼料作物の自給率の向上を図るため、耕畜連携による飼料作物の生産や飼料用稲の新品種の開発、放牧の推進に取り組んでいる。

問19 知的財産に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 植物新品種の育成者権の保護を図るため、品種保護Gメンの活動強化が行われている。
- イ 遺伝子特許の活用をはじめとした家畜の遺伝資源の保護・活用が推進されている。
- ウ 特許等の技術移転による新需要・新産業の創造といった知的財産を活用する取組に対する支援が行われている。
- エ 「日本ブランド」の確立の手法のひとつとして、和牛の統一マークの策定等の取組が行われている。
- オ アジア諸国等からの種苗の違法な持込みや、その収穫物の違法輸出等の海外の育成者権の侵害事例が顕在化している。

問20 平成19年4月に、農政課題の解決に資する有用な新技術として公表された「農業新技術2007」の技術とその期待される効果のうち、最も不適切なものを選びなさい。

	技術名	期待される効果
ア	不耕起汎用播種機	水稲作では直播栽培による省力化、さらに麦・大豆に汎用利用することにより農機具費の縮減
イ	大豆「300A技術」	干害回避により高収量で高品質な大豆生産
ウ	超低コスト耐候性ハウス	新部材、新工法を用い、強度を備えつつ設置コスト低減
エ	稲発酵粗飼料を全期間給与した肉用牛肥育	肉用牛肥育用粗飼料の生産により飼料自給率向上・水田有効活用
オ	イノシシ、サルの侵入防止防護柵	金網の折り返しをつけた防護柵（イノシシ用）やネット型電気柵（サル用）により、農作物被害の軽減

問21 植物生理に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 作物が日長に応じて花芽分化し、開花する性質を光周性という。
- イ 暗期がある長さ(限界暗期)より長くなると花芽分化する植物を短日植物という。
- ウ 花芽の分化が温度の影響を受ける性質を感温性といい、イネやレタスでは高温が続くことにより花芽分化が促進される。
- エ 種子や幼苗の頃、一定温度以上の高温にあうことが花芽分化や開花に必要な作物も多く、この現象を春化（バーナリゼーション）という。
- オ 発芽から花芽形成までに必要な最低限の栄養成長量が確保されるまでの期間を基本栄養成長期間という。

問22 畜産に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 産卵鶏のひなの期間は、ふ化から140～150日間くらいで、初生ひな・幼ひな・中ひな及び大ひなの4期に分けられる。
- イ 繁殖素豚の繁殖周期は、妊娠日数の約114日、授乳期の21～35日、発情回帰日数の5～10日で、約150日となり、年間2.5回分娩できる。
- ウ 性成熟に達した後、妊娠しない牛は、平均21日で発情をくりかえす。
- エ 雌豚の性成熟は、育成方法によって異なるが、生後6～7か月、体重100kgのころである。
- オ 乳牛の雌は、ふつう生後20～24か月で受胎し、平均330日の妊娠期間で子牛を分娩する。

問23 バイオテクノロジーに関する次の文章のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 茎頂培養は、栄養繁殖性の野菜・草花・果樹において、ウイルスフリー苗の作出技術として一般化している。
- イ 細胞融合は、さまざまな植物で検討されているが、まだ体細胞雑種の作出にまでは到達していない。
- ウ 胚培養は、野菜や草花でさまざまな組合せの雑種作出に利用されており、特にユリ類では新品種作出のための一般的な技術となっている。
- エ 葯培養や花粉培養は、特にイネや野菜で行われており、得られた半数体や純系をもとにした品種育成も進んでいる。
- オ 遺伝子組換えは、様々な植物で検討され、除草剤抵抗性などの有用遺伝子が導入された品種も作出されており、海外ではすでにダイズ、トウモロコシ、ナタネなどで実用化されている。

問24 気象災害に関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア 降ひょうは早春に多く、高積雲や前線の通過の際に発生するが、いつ、どこで、どの程度のひょうが降るかは予測しにくい。
- イ フェーン現象は乾燥した空気が山を越えるとき、山の風上側で吸湿し、山の風下側に吹き降りるときには温度が低く、湿った霧となる現象である。
- ウ 北海道東部、東北地方太平洋側に冷害を引き起こすヤマセは、シベリア高気圧に由来する偏西風である。
- エ オホーツク海高気圧に起因する低温の範囲は、北日本だけでなく西日本にまで及び、全国的な冷夏を引き起こす。
- オ 干ばつ発生の危険性は、はっきりとした地域性が見られ、夏期には東北や北海道で高く、北九州、四国、中国で低いという傾向がある。

問25 次の文章は、農村における各種の集団の特徴を述べたものである。それぞれの集団の名称として、最も適切な組合せを選びなさい。

- i 居住地の接近を縁因として成立する社会集団で、生活の全体的成立を保持するための諸機能を果たす多目的集団である。
- ii 構成員相互の知識や技術、経験の交換、集団による思考の進化、互いの励まし合い等から、構成員の自発性を高めることが目標である。
- iii 同志的に結成された集団で、特定の機能を中心に単一目的の活動に焦点をおく。平等性と構成員の等質性が確保され、加入・脱退の自由が原則である。

	i	ii	iii
ア	血縁集団	学習集団	準拠集団
イ	地縁集団	友人集団	職能集団
ウ	血縁集団	友人集団	機能的集団
エ	地縁集団	学習集団	機能的集団
オ	基礎的集団	学習集団	準拠集団

問26 次の文章は、家族経営協定について述べたものである。() 内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

農業経営の近代化を図る観点から進められている家族経営協定の始まりは、昭和30年代後半に各地に導入された家族協定である。当時の協定は、経営主と後継者が中心であった。現在では、経営者とその配偶者間の協定が(i)を占めており、さらに、経営者の父母や、後継者、後継者の配偶者等の世帯員を含むものとなっている。女性が、協定の当事者になることによって、農業経営における女性の位置づけを明確にすることが可能となり、認定農業者の共同申請の要件ともなっている。

なお、現在、認定農業者のうち、共同申請を含めた女性が占める割合は、(ii)と低い水準にある。

また、協定の内容は、農業経営の方針決定や農業面の役割分担、(iii)に関するものが多く、老後の扶養・育児分担・遺産の相続など、生活面を含めた男女共同参画には、まだ課題が多い。

	i	ii	iii
ア	1 / 3	5 %未満	社会・地域活動への参加
イ	半数	約 1 割	経営移譲
ウ	半数	5 %未満	労働時間・休日
エ	1 / 3	約 1 割	労働時間・休日
オ	半数	約 2 割	社会・地域活動への参加

問27 農事組合法人に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

ア 農事組合法人における議決は、一人一票である。

イ 農事組合法人における配当には、利用分量配当、従事分量配当、制限付出资日期の3種類がある。

ウ 農事組合法人の組合員は労働者ではないため、労災保険に加入することができない。

エ 農事組合法人の目的は、組合員の農業生産についての協業を図ることにより、その共同の利益を増進することである。

オ 農事組合法人は、農業協同組合法に基づき、設立される法人である。

問28 作物に関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア 麦類は水稻に比べると肥料の効果が小さく、収量は施肥によって左右されにくいので、10a当たり施肥量も水稻より少ない。
- イ 日本の水稻の要水量は300 g くらいであり、移植から収穫までの用水量は普通10 a 当たり1, 200～1, 500 k lである。
- ウ 大豆品種には、茎先端の伸育性から、無限伸育性と有限伸育性の品種があるが、我が国の品種はほとんどが無限伸育性である。
- エ 沖縄県におけるサトウキビ栽培は、株出し栽培が一般的であり、収穫は盛夏の8月から10月にかけて行われる。
- オ 我が国の暖地におけるばれいしょの作付体系には、秋に植付けし、春に収穫する春作型と春に植付けし、秋に収穫する秋作型とがある。

問29 施設園芸に関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア 両屋根型のガラス温室の場合、受光量が均等となることから、東西方向に長く設置されることが多い。
- イ 片側の屋根の表面積が屋根全体の3／4を占めるスリークォーター型のガラス室の場合、冬の受光量が多い南北方向に設置されることが多い。
- ウ 我が国で最も一般的な被覆資材である硬質フィルムには、塩化ビニル、酢酸ビニル、ポリエチレンなどが使われており、このうち、ポリエチレンが最も多い。
- エ 野菜、果樹、花きの区分の中で、ガラス室及びハウスの設置実面積が一番広いのは、花きである。
- オ 野菜の中で、ガラス室及びハウスの栽培延べ面積が最も広い品目はトマトである。

問30 次の家畜の品種に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

ア 白色レグホーン種は、ニワトリの卵用種で羽が白く、卵が大きく、現在世界で飼育されている卵用鶏の大半を占める。

イ 白色コーニッシュ種は、ニワトリの肉用種で、羽が白く、発育がよく、胸の肉付きがよい。

ウ 大ヨークシャー種は、生肉用型の黒ブタで、鼻端、四肢端、尾端だけが白い「六白」がある。肉質は柔らかく良好である。

エ ホルスタイン種は、代表的な乳用種で、白黒斑がほとんどである。性格は極めて温和で、寒さには強いが暑さには弱い。

オ 黒毛和種は、日本における代表的な肉専用牛で、毛は黒褐単色で有角である。肉質は、極めて優れ、脂肪交雑の良く入った霜降り肉を生産する。

問31 次の文章の（ ）内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

普通畑では、黒ボク土などの（ i ）が半分以上の面積を占め最も多く、次いで褐色森林土、褐色低地土の順である。樹園地では、（ ii ）が最も多く、次いで黒ボク土、黄色土の順である。また、地域的に見ると、黒ボク土では（ iii ）が最も分布割合が高く、褐色森林土は（ iv ）、近畿、東北で分布割合が多い。

	i	ii	iii	iv
ア	細粒質土壌	褐色森林土	東北	九州
イ	火山灰土壌	灰色低地土	東北	関東
ウ	細粒質土壌	褐色低地土	北海道	関東
エ	火山灰土壌	褐色森林土	関東	中国・四国
オ	火山灰土壌	褐色低地土	関東	北海道

問32 生物農薬の特性に関する次の記述のうち最も不適切なものを選びなさい。

- ア 効果の発現が遅効的である。
- イ 防除対象生物への特異性が高い。
- ウ 大量増殖や品質管理が容易である。
- エ 効果が環境条件に左右される。
- オ 環境調和型である。

問33 穀物乾燥機(循環式)を使用するに当たり、燃料消費量低減の視点から、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 張込み量は満量を避け、少量ずつに分けて乾燥する。
- イ 張込み量が少ないときは熱風温度を下げる。
- ウ 張込み後に常温通風を行う。
- エ 夜間は休止乾燥（テンパリング）を行う。
- オ 送風機からの排気が再び乾燥機内に吸引されないようにする。

問34 食品の安全確保に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア リスク分析とは、何らかの問題が発生した場合、すみやかに問題発生に対処したり悪影響を最小限に抑える方法を提言したりすることをいう。
- イ リスク管理とは、どの程度のリスクがあるのかを実態調査すること等により、知った上で「生産から食卓まで」を通じて食品の安全を確保する措置をとることをいう。
- ウ リスク評価とは、食品に含まれる有害物質等を摂取することにより、どのくらいの確率でどの程度の健康への悪影響が起きるかを科学的に評価することをいう。
- エ リスクコミュニケーションとは、リスク分析の全過程において、消費者などの関係者間でリスクについての情報・意見を交換することをいう。
- オ リスク管理は、国際標準に適合しなければならず、リスク分析の標準のひとつとして国際食品規格を作成するコーデックス委員会の作業原則がある。

問35 都市と農山漁村の共生・対流の促進による地域の活性化に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

- ア 内閣府の世論調査によると、農村への定住願望を実現するためには、家屋や土地を安く入手できることとあわせて、医療機関の整備を求める意向が強い。
- イ 農山漁村に滞在する際に利用できる農林漁家民宿は、開業・運営に関する規制緩和によって増加している。
- ウ 農業・農村体験学習を実施している小・中学校では、「時間の不足」と「学校や教師の農業に関する技術や知識・情報の不足」を課題としている。
- エ 全国の市町村では、団塊世代の定年退職にともなう影響として、地方への交流人口・定住人口の増加に期待している半面、社会保障費の公的負担の増加を懸念している。
- オ 都市住民が身近に農業を体験できる場としてニーズが高い市民農園の開設主体は、農業協同組合が主である。

問36 固定費を a 、生産量 1 単位当たりの変動費を b 、生産物販売単価を p とした場合、損益分岐点における粗収益を表す式として正しいものを選びなさい。

- ア $a / (p - b)$
- イ $b / (p - a)$
- ウ $p / (a - b)$
- エ $a \cdot p / (p - b)$
- オ $b \cdot p / (p - a)$

問37 次の文章は、I Tを活用した農業生産の事例に関して述べたものである。()
内に当てはまる最も適切な語句の組合せを選びなさい。

(i) とは、調査の対象となる物体やその状態について、遠く離れた位置から情報を収集し、処理し、利用する技術である。地球表面の森林・農地・海洋・気象などの情報は、人工衛星などに搭載された (ii) によって収集され、コンピューターによって処理されて、農業・林業・環境・防災などの広い分野に利用されている。

(iii) とは、地図のデータと、地図上の自然・社会・生活・産業・経済・環境などの各種のデータをデジタル化し、総合的なデータベースとしたもので、農村の地域計画、環境保全、都市計画などの分野で活用されている。また、きめの細かい農地情報の管理ができるので、(iv) を支える基本技術でもある。

	i	ii	iii	iv
ア	リモートセンシング	センサ	G I S	精密農業
イ	エキスパートシステム	サーバ	G P S	精密農業
ウ	リモートセンシング	サーバ	G I S	有機農業
エ	リモートセンシング	センサ	G P S	精密農業
オ	エキスパートシステム	サーバ	G I S	有機農業

問38 農産物、食品等の物流における電子タグの活用に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選びなさい。

ア 電子タグとはIC チップとアンテナを内蔵したタグのことをいう。

イ 農産物など卸売市場のもとで取引されるものの物流コストを削減するものとして期待される。

ウ 電子タグは、バーコードと異なり、小型であるため、データを読み取る範囲が狭く、読み取れる方向も自由度が小さい。

エ 電子タグは、食品トレーサビリティシステムにおいても活用が有力視されている。

オ 一方的に読み込みを行うバーコードと異なり、データ書き込みもできる電子タグが存在する。

問39 以下の①及び②は、農業改良助長法（昭和23年法律第165号）第8条で定めている普及指導員の事務の内容である。（ ）の中に入る語句として正しいものの組合せを選びなさい。

- ① 試験研究機関、市町村、農業に関する団体、教育機関等と密接な連絡を保ち、専門の事項又は普及指導活動の技術及び方法について（ i ）を行うこと。
- ② 巡回指導、相談、農場展示、講習会の開催その他の手段により、直接農業者に接して、農業生産方式の合理化その他農業経営の改善又は（ ii ）に関する科学的技術及び知識の（ iii ）を行うこと。

	i	ii	iii
ア	調査研究	農村生活の改善	普及指導
イ	調査研究	農作業の安全	調査研究
ウ	調査研究	食品の安全・確保	研修活動
エ	研修活動	農村生活の改善	調査研究
オ	研修活動	食品の安全・確保	普及指導

問40 協同農業普及事業における普及指導活動の効率的かつ効果的な実施を図るための留意事項として最も不適切なものを選びなさい。

- ア 普及指導活動の重点化を図る。
- イ 試験研究、普及指導及び研修教育の役割を担う各機関が主体性を活かした独自の取組を基本に推進する。
- ウ 地域の農業情勢や特性等に即して、効率的かつ効果的に普及指導活動が実践できる普及指導体制の整備に努める。
- エ 農業経営を総合的に支援していく観点から民間の活力の積極的な活用に努める。
- オ 実践的な研修教育を通じて研修教育の充実強化に努める。